



# 北九州港の 現状と課題について

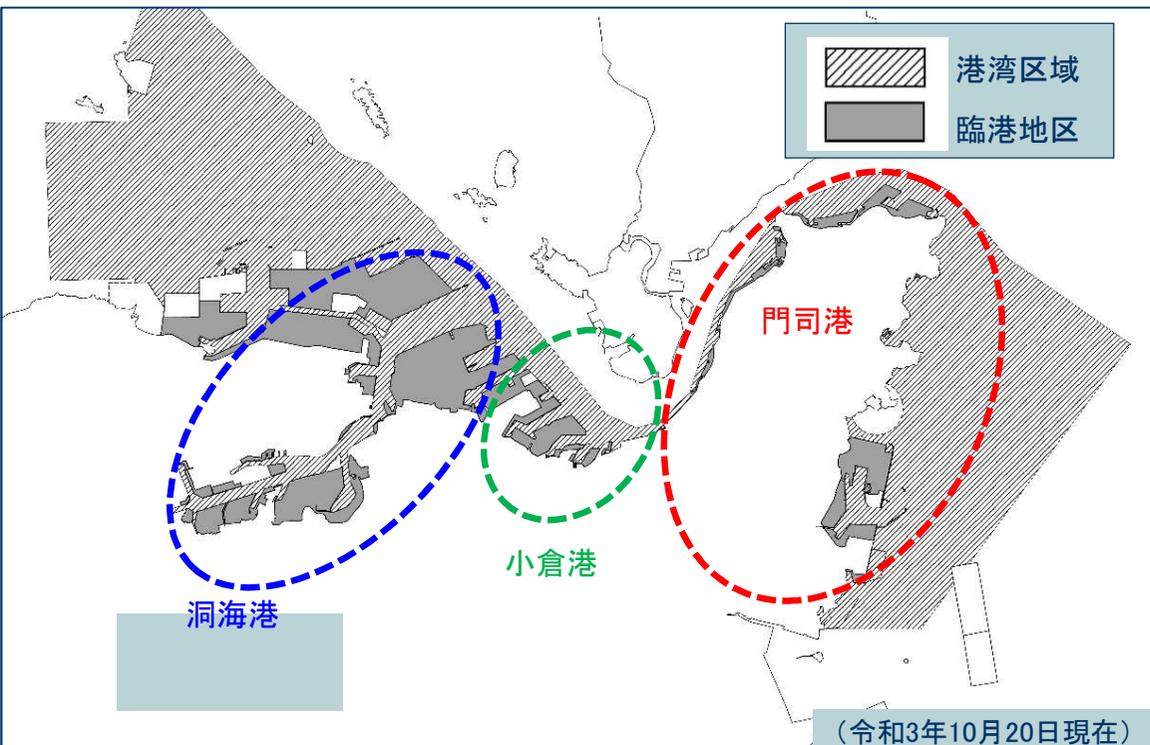
令和5年5月18日  
経済港湾委員会  
港湾空港局

# 1 北九州港の歴史と特長

- 北九州港は明治時代より「外貿の門司港」「内貿の小倉港」「鉄・石炭の洞海港」として発展。
- 北九州市誕生を契機として、昭和39年(1964年)に3港が統合され北九州港が誕生。
- 陸域となる臨港地区は全国2位(3,705ha)、水域となる港湾区域は全国4位(17,638ha)。
- アジアに近い地理的優位性、交通の結節点、ものづくり産業の集積などの特長を有する。

## ◆門司港・小倉港・洞海港の位置と臨港地区・港湾区域

## ◆北九州港と東アジア主要都市



# 2 北九州港の主要施設



1 ひびきコンテナターミナル



2 小倉(浅野)フェリーターミナル



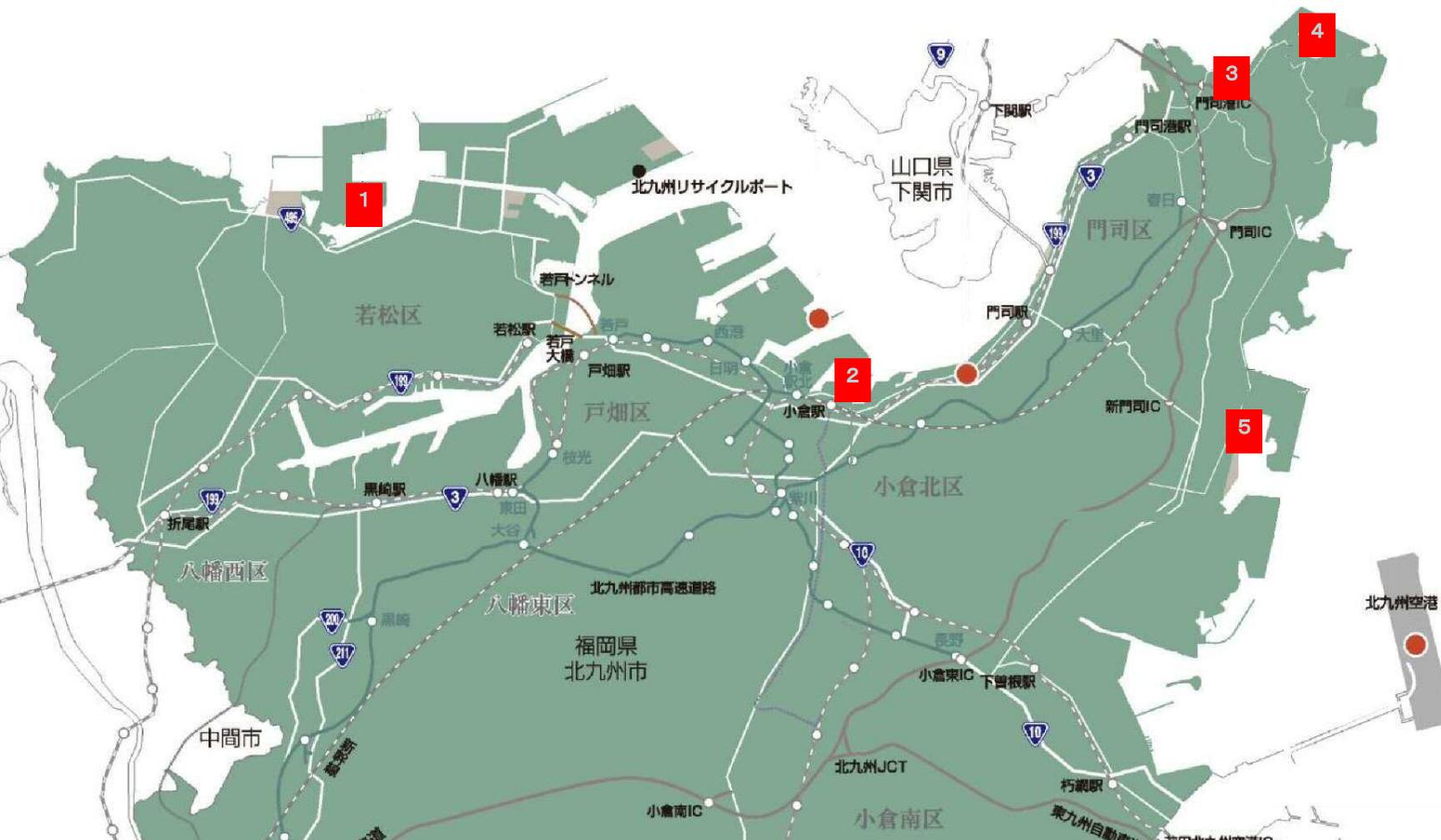
3 田野浦ROROターミナル



4 太刀浦コンテナターミナル



5 新門司フェリーターミナル



# 3 港湾施設

・港湾施設は、船舶が通航する航路や泊地と、岸壁や荷さばき地や荷役機械等の施設に加え、緑地等から構成され、港湾施設数は、市内全域に約1500施設。



# 4 貨物取扱量（海上出入貨物）

輸送手段別 取扱貨物量の割合

約1億トン



コンテナ船 7,246,910トン / 7.2%

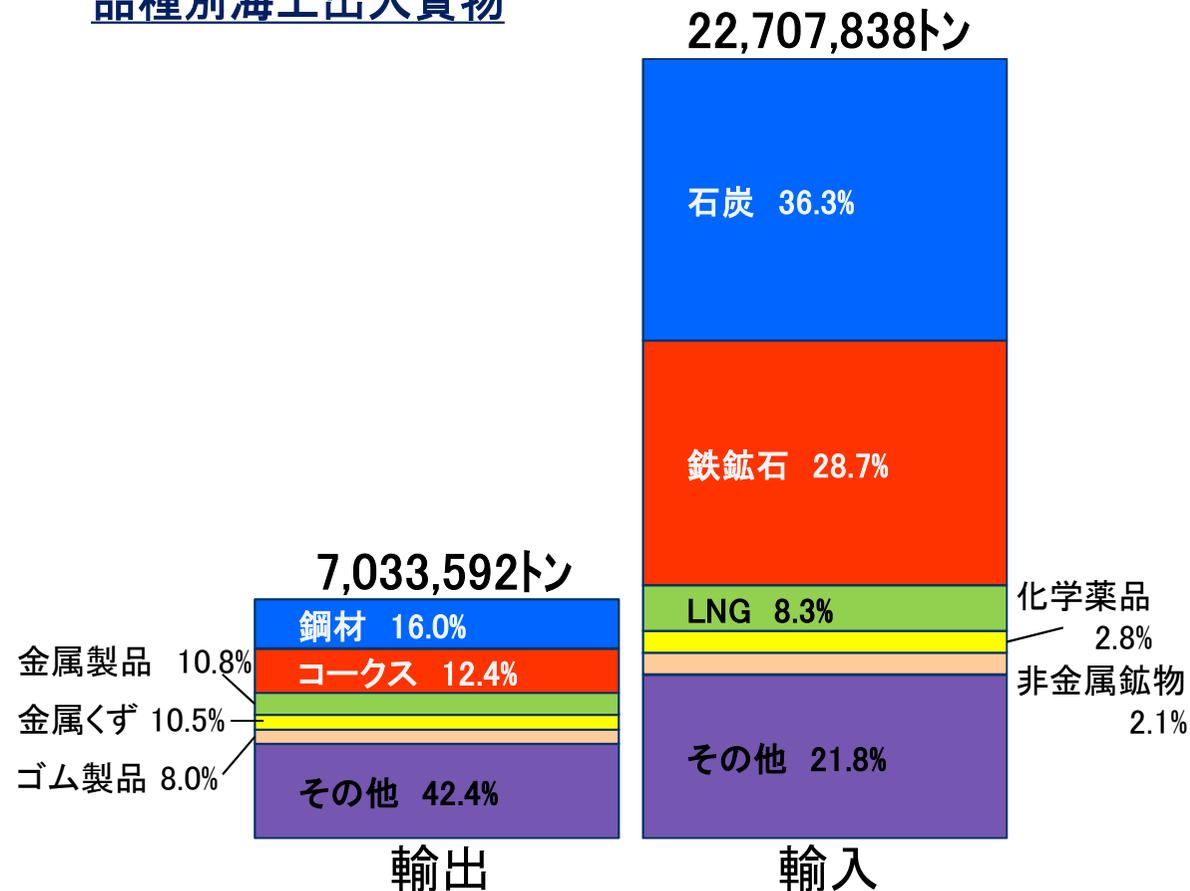
※ 在来船: コンテナを使用せず直接船舶に貨物を積む船舶  
 ※ RORO船: 貨物を積んだトラックやシャーシ(荷台)ごと輸送する船舶

主要港の取扱貨物量

単位: 百万トン



品種別海上出入貨物



# 5 定期コンテナ航路

34航路150便/月の豊富な国際定期航路が就航  
(内航フィーダー船も神戸航路を中心に多数就航)

令和4年11月  
日本海航路就航

韓国航路  
8航路44便/月

中国航路  
16航路66便/月

台湾航路  
2航路8便/月

東南アジア航路  
8航路32便/月

緑矢印: 国際コンテナ航路  
青矢印: 内航コンテナ航路

